

令和7年度教育事業報告書

事業名	地域探究プログラム オリエンテーション合宿
期日	①令和7年4月25日(木)～26日(金)、②5月9日(月)
会場	国立那須甲子青少年自然の家
対象	福島県立光南高等学校 第2学年 文理探究コース
参加者数	25名
趣旨	国立青少年教育機構本部による全国高校生体験活動表彰制度「地域探究プログラム」運営に関するガイドラインに基づき、福島県立光南高等学校と連携し、探究の手法を用いながら、「個人の興味・関心と地域の魅力・課題を結びつける力（探究力）」を実践的に身に付ける。

事業内容及び成果と課題

【事業内容】

全国高校生体験活動顕彰制度のカリキュラムBに基づき、試行分野として「ガイダンス」「地域づくりの理解と課題設定の基礎」「地域づくりと探究」「発表①」、実行分野として「地域課題の探究」「発表②」を実施した。

①「地域づくりの理解と課題設定の基礎①」では、光南高等学校の鈴木博幸教諭による講義を行った。参加者は、探究活動と自身の将来とのつながりを意識するとともに、自校の先輩の実践例を参考に、「課題の設定」「情報収集」「整理・分析」「まとめ・表現」といった探究のプロセス全体の見通しをもつことができた。

「地域づくりの理解と課題設定の基礎②」では、矢吹町まちづくり推進課及び地域企業有志によるワーキンググループ「チームやぶき」から、環境課題に対する行政及び企業の取組について説明を受けた。

「地域づくりと探究」「発表①」では、一般社団法人未来の準備室の青砥和希氏から、探究活動における課題設定の方法について学んだ。参加者は、AIを活用しながら、環境課題を自身の身近な問題として捉える演習に取り組み、自分の関心や地域ニーズに基づいて課題を設定する力を養った。その後、自ら設定した課題について発表を行い、全体で共有した。

実行分野の「地域課題の探究」「発表②」では、青砥氏からフィールドワークの進め方について説明を受け、課題解決に向けた情報収集を行った。活動後は、各グループの発表を聴き合うことを通して、学びを深めた。

②後日、実践活動に向けたガイダンスを光南高等学校にて実施した。

【成果と課題】

〈成果〉参加者は探究の課題設定の演習において、行政や地域活動団体など、普段接することのできない地域関係者の視点から思考できたことに加え、AIとの問答を通して、「環境問題」の広いテーマから身近なテーマへと課題の焦点化を行ったり、自身の関心や考えを深めたりするプロセスを学ぶことができた。

〈課題〉「環境問題」だけでなく「地域課題」から自分の問いを立てたり、探究活動を通してどのような魅力のある地域にしたいかを考えたりする活動があってもよいと感じた。

事業の様子



講義の様子①



講義の様子②



講義の様子③



テーマづくりの様子



フィールドワーク



フィールドワーク振り返り